

## 飯館中学校の新仮設校舎で開校式



飯館中学校開校式

▲式が行われた多目的ホールには、村内の校舎の大きな写真が貼られています

2学期から使用が開始された中学校の新仮設校舎で開校式が行われました。生徒会の代表が震災から現在までの中学校の取り組みをスクリーンで紹介。生徒会長の西川茜衣梨さんが「全国の皆様からの励ましや村民の皆様の思いを受け前に進んでいく覚悟です」とあいさつし、列席の関係各位にも感謝を伝えました。式の後にはピアニストの梯剛之さんによるコンサートも開かれ、美しい旋律が開校式を彩りました。

## 9/9 松川町の夕暮れコンサートに 虎捕太鼓が出演

「飯館 絆 松川がんばっぺ!! 第15回夕暮れコンサート」に佐須の虎捕太鼓が出演しました。JR松川駅前に設けられた会場には松川地区に避難する多くの村民も訪れて、トランペット奏者のNoby(ノビー)さんや沢田研二のそっくりさん澤田研史さん他、多彩な出演者のステージを楽しみました。虎捕太鼓は最後に登場。迫力の響きと華やかなバチさばきに、大勢の観客が大きな拍手を送っていました。



▲母娘で出演の(右から)菅野裕恵さん(佐須)・真生さん(飯館中1年)・風希さん(飯館中2年)。2人の娘さんは幼稚園児の時からメンバーです。「楽しかった」



▲躍動的な太鼓が会場を一つに盛り上げました

## 9/15 愚真会が古民家で そばの振る舞い

福島大学教授の境野健兒さん・生活評論家の境野米子さん夫妻が飯野町の古民家でオープンハウスを開催しました。「いいたて愚真会」のメンバーでもある夫妻の応援に、同会がそば打ちをし、打ち立てのそばを振る舞いました。そば打ちには来場者も体験参加。ゆでたてツヤツヤのそばを、冷たい「ぶっかけそば」で味わいました。

▲安達正之さん(前田)「わいわいガヤガヤ打って食べるのが一番おいしいな」

打ち立てのそばを大きな釜でゆで上げました

小さなお客さんもおいしさに夢中です



## 旅で感じたこと、学んだことを発表します

夏休みに実施された小学6年生の「沖縄でのまでの旅」、中学生の「未来への翼 in イタリア」。2つの研修の報告会の準備が行われました。それぞれ飯野学習センター、飯野出張所の会場に集まった小中学生は、研修時の班ごとに話し合っ、心に残った訪問先や出会いについてまとめ、ステージ発表の練習などを行いました。展示とステージ発表による報告会は、「いいたて村文化祭」の中で行われます。観覧自由ですので、ぜひ足をお運びください。



▲小学生は飯野学習センターで。班ごとに発表の練習も



沖縄に行って感じたことをそのまま伝えられるようにしたい



言葉は通じなくても、心は通じ合えたということ伝えたい



中学生は飯野出張所で。自分で撮影した写真に文章をつけました

### いいたて村文化祭

県文化センターで10月7日・8日開催。村民が日頃の取り組みを展示や発表で披露します。



▲南三陸町や南相馬市など他市町村の参加者と共に



▲積み重ねた一人ひとりのカラー

## ワークショップ「未来への翼」9/15

また、未来への翼inイタリアに参加した中学生から7人が、宮城県仙台市の宮城大学で開かれた「日本で最も美しい村」連合東北ブロック主催の「美しい村《創り》」ワークショップ「未来への翼」に参加しました。ワークショップでは、白い箱に色紙を貼りイメージを色で表現。仕上がった箱の中に「どんな風に未来を作りたいか」を書いて入れ、タイムカプセルにしました。

## 小学校で開かれたアンサンブルコンサート

草野・飯樋・白石小学校の音楽室で「愛とヒューマンのコンサート」が開かれました。松本克巳さんのヴァイオリンと相馬泉美さんのピアノによる、クラシックの名曲を中心としたアンサンブルコンサート。5年生と6年生がさまざまな曲想の美しいメロディーに耳を傾けました。松本さんは演奏の合間にヴァイオリンの弓を分解してその構造を説明したり、曲の背景を分かりやすく話したりして、音楽の魅力を身近に伝えていました。



▲被災地へ思いを届けるコンサート。今回は県内9カ所で



▲ヴァイオリンのさまざまな音色に聴き入って